

愛荘町議会が来町

当町の姉妹都市である愛荘町から宇野一雄副町長と町議会議員15名が両町友好のため、6月30日に来町し、当町議会議員や町関係者と交流しました。

翌日には、伝統工芸の小砂焼ほか、今年5月に竣工したイノシシ肉加工施設、馬頭広重美術館、ケーブルテレビ放送センターなどの町内各施設を見学しました。

また、愛荘町でも給食センターを建設予定とのことで、当町の給食センターを視察し、同施設の概要や地産地消に対する取り組みなどについて説明を受け、配送方法や地元食材の安定的な供給方法などについての意見交換をしました。



社会を明るくする運動
南那須地区推進大会

7月11日、小川総合福祉センターすこやか共生館にて第59回社会を明るくする運動南那須地区推進大会が開催され、管内の保護司や民生委員児童委員など関係者約130名が出席しました。

大会では、町更生保護女性会の山田百合子会長が青少年の健全育成のため、「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」をスローガンに、「三ない運動」を推進する旨の大会決議を読み上げ、社会を明るくする運動作文コンテスト栃木県実施委員会最優秀賞を受賞した星このかさん（馬頭小4年）の作文が発表されました。

ウィーン音楽学校
交流コンサート

7月11日、小川総合福祉センターあじさいホールで約400名の町内外の観客のもと、クラシック音楽の本場オーストリアのウィーン国立音楽大学とヨハン・セバスチャン・バッハ音楽学校の生徒18名によるコンサートが開催されました。

同コンサートは4年前にも開催されましたが、今回は町第九を歌う会も合唱で共演し、「荒城の月」などを披露。観客の皆さんも一緒に「ふるさと」を歌うなど、会場は大いに盛り上がりました。

また、生徒の皆さんは町民のお宅にホームステイするなど、国際交流を深めていました。



着衣水泳教室を開催

水難事故が相次ぐ夏休みを前に大山田小学校で全校児童48名を対象とした着衣水泳教室が7月15日に同校プールで開催されました。

授業の中では、服を着たまま水に入るといかに抵抗が大きいか、また、友達をおんぶして水中を移動することがいかに困難かを体験しました。先生からは「溺れている人を発見した時は、決して自分で助けに行かず、大人を呼びに行くか、何か浮く物を投げるように」と指導がありました。

最後にみんなで投げ入れられたベクトボトルを浮き輪がわりにする練習をして、授業は無事終了しました。



第59回塩那少年野球大会

小川小学校同窓会主催による第59回塩那少年野球大会が町内外16チーム出場のもと、7月18日、19日の2日間、小川小学校ほか2会場で開催されました。

開会式での小川上の台の佐藤孟水主将（小川小6年）による選手宣誓の後、各会場では熱戦が繰り広げられ、子供たちの懸命なプレーに父兄の声援がこだましていました。大会結果は次のとおりです。

- 優勝 西原ビクトリーズ
- 準優勝 こぶしフェニックス
- 第三位 小川那珂クラブ
- 第三位 烏山クラブ



大内川で砂金採り体験

7月18日、親子わくわく塾では大内川で砂金採り体験を実施し、6家族15名が参加しました。

当町の健武山神社周辺の武茂川は砂金の産地として、奈良時代の昔より、「那須のゆりがね」として和歌にも詠まれるほど、遠く都にもその名が知られており、健武山神社の「金山彦命」については、続日本書紀の中で「承知二年下野国武茂神に従五位を授け、比神採砂金の山に座すとみえる」と記されています。

なかなか採れない砂金よりも、子どもたちは小魚や沢ガニ捕りに夢中で、大人の方が一生懸命にゆり板を揺らしていました。

縄文土器づくりを体験

なす風土記の丘資料館では、夏休み体験活動の一環として、本物の縄文土器を見ながらの土器づくり体験を7月26日に小川館で開催し、親子連れなど28名の方が参加しました。

土器づくりに先立ち、当館ボランティア「なすー風土記」展示の解説が行われ、縄文人の生活を学んだ後、早速、土器づくりが行われました。今回は、ひも状の粘土を一段ずつ重ねる「輪積み法」と呼ばれる方法で深鉢などの土器を作成。参加者の皆さんは、出来上がった作品の表面に荒縄や竹ぐしで思い思いの文様を付け、縄文時代の人々の生活に思いを馳せていました。



橋本イチさんに百歳のお祝い

橋本イチさん（小川）が7月29日に百歳を迎え、佐藤佳正副町長から祝い金と花束が贈られました。

橋本さんは、今でもゲートボールの練習を欠かさず、地元チームの選手として活躍しているそうです。

また、雨の日は自宅で趣味の手芸をするなど手先も器用で、雑誌を買ってきては参考にし、新たな作品づくりに励んでいます。出来上がった作品を友達に配った時に喜ばれることが何よりも嬉しいそうです。

今でも病気一つなく、元気に過ごしている秘訣を訪ねたところ、「早寝早起きと、食事は家族みんなと同じ物を食べる」とはつきりと答えてくれました。

